学校番号	２１５

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	美術３　（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術を学ぶとは、何が美であるのかを探る行為を通して、物事の本質は何なのかを考えることである。
・作品としての良さは、発するパワーや表現の強さ深さなどに加え、制作者が表現したいものや表現方法にこだわりを持って制作し、試行錯誤を重ねることで到達することができるものとしている。実際に制作しつつ、国内外の様々な作家や作品に目を向けて幅広く知識や技術を学ぶことにより、その良さを知り自身の取り組みの意味や喜びを見つけて得た成長の成果でもある。
・鑑賞するとはその作品から学ぶことであり、優れた作品に接することで、技術的な面だけでなくその作品の本質を知ることができる。作品を見る目を養うことによって、自己の作品制作に求めるものや、完成はどこであるのかを考える力をつけることができる。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術の諸能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・課題に関心を持ち、主体的に積極的に取り組んでいる。 ・こだわりを持って取り組み、より良い作品になるよう試行錯誤しつつ制作している。 ・準備、後片付けに至るまで、課題を念頭におきつつおこなえている	・課題に対し、自分なりの解釈や表現を試みている。 ・常日頃からの様々な芸術文化、社会への関心の深さが発揮されている。	・作業手順を理解し、無駄なく動けている。 ・材料、道具の特性や良さを生かして表現している。 ・それぞれの作業を丁寧に行っている。	・学んだ分野や特性、その課題の魅力を理解して、自他の作品や国内外の作家の作品を鑑賞している。 ・学んだ材料、道具についての知識を持ちつつ、独自の観点で作品の良さを見つけている。
評価方法	・作品 ・ワークプリント	・作品 ・ワークプリント	・作品	・ワークプリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	絵画・立体	「イラスト(ポスター)」 「陶で作るオブジェ(食器)」 の2課題から1つを選ぶ						
		「イラスト(ポスター)」 ・B1またはB2のパネルに用紙を水貼りし、制作する。 ・メッセージ性のあるポスターか、自由テーマのイラストか、いずれかを決める。 決まったら・・・ ・まず、作品のテーマを考えながら、アイデアスケッチをする。 ・模造紙に実物大の下絵を描き、バランスなどを検討する。 ・水貼りしたパネルに制作していく。 　作品の構想によって、使用する画材や、製作の手順を考える必要がある。	○	◎	○	◎	a: テーマを決定し深めるための資料集めなどを積極的に行っている。 b:構図の検討が十分にできている。 制作の手順を考えている。 画材や絵の具の使い方など表現方法に工夫がある。 単なる塗り絵にならず、下地作りがよくできている。 最後まで描きこみをしている。 c: パネルへの水貼りがシワにならず、きれいにできている。 d:ポスターとイラストの違いを理解している。 ポスターでメッセージを伝えるとはどういうことか、を理解している。	製作中の様子 作品
		「陶で作るオブジェ(食器)」 ・土に慣れることと、基本的な作陶の技法を学ぶため、小作品(ピッチャー)を作る ・整形→削る→把手をつける、の工程で作る。 ・本作品の構想を練る (アイデアスケッチ) ・紐作りまたは板作りで、制作に取りかかる。 ・整形ができたら、削って形を整える。 ・デザインによっては素焼き後に加飾をする。	○	◎	◎	○	a: 土練りから、手を抜かず丁寧に行っている b:照明器具や食器など、用途にあったデザインができている。 既製品にはないオリジナルな発想がある。 c: 厚みが均一でしっかり整形できている。 把手などの接着が丈夫に美しくできている。 d:整形→乾燥→素焼き→釉掛け→本焼き、という陶器の製作過程を理解している。	製作中の様子 小作品 本作品

2学期	立体	「時計を作る」 ・掛け時計または置時計を、デザインし、制作する。 ・アイデアスケッチをする。 ・各自の構想に従って、必要な素材を考え、準備する。 ・制作する。 糸鋸で板材を切る 針金で整形する 粘土で整形する 和紙を貼る 彩色する 表面加工する ・時計のオーナメントと針を取り付け、完成する。	○	◎	◎	○	a: アイデアスケッチの段階で、多くの資料に当たったり、様々な材料の可能性を検討している。 b:新しい視点から発想したオリジナルなデザインになっている。 素材とデザインがマッチしている。 彩色や表面の仕上げに工夫がある。 c: 材木や針金の加工を安全に美しく行っている。 d: 時計をデザインするに当たって、用途とデザイン性の関係を理解している。	制作の様子 作品
3学期	デザイン	「飛び出すカード」 ・練習プリントをカットすることで、文字が飛び出す仕組みを理解する。 ・文字のデザインをする ・文字以外の部分のデザインをする。 切絵の手法を理解する ・下絵をカラーケント紙に写す ・カッティングする。 ・文字が立ち上がるように折り目をつけ、別色のカラーケントに貼りあわせて完成。	○	◎	○	○	a:レタリングや、モチーフをデザインするために、図鑑・資料などを参考にする。 b: 各自の文字の内容にあったデザインになっている。 カッティングで表現することの効果が考えられている。 ２色の配分が効果的に使われている。 c:カッティングが丁寧にすっきりできている。 d:文字が立ち上がる仕組みを理解している。 切絵では、輪郭線に頼らず２色で絵を表現することを理解している。	制作の様子 練習プリント 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。